

〈RICOH P C370SFの特殊用紙対応状況〉

本留意事項は、リコーにて通紙確認した結果をもとにご使用になる際の留意点を記載したものです。

なお、お客様のご使用環境、用紙の取り扱い方法、2次加工（プレ印刷、ミシン目、スリット加工など）により、正しく通紙しない場合もあります。

※本ガイドは、特殊紙の印刷について、機器の性能を保証するものではありませんので予めご了承ください。

※各特殊紙の取り扱いやご使用上の留意事項は、全て各用紙メーカーのガイドをご参照ください。

※通紙方向は、プリンター給紙口に対しての短辺がSEF(Short Edge Feed)、長辺がLEF(Long Edge Feed)です。

カテゴリ	製品名	メーカー	用紙 サイズ	印刷面	給紙トレイ	積載可能枚数	本体設定		ドライバー設定		通紙 方向	留意事項
							用紙 種類	用紙厚さ	原稿 サイズ	用紙 種類		
コート紙	PODグロスコート100	王子製紙	A4	手動両面	給紙トレイ1～2 手差し	給紙トレイ1～2:100枚 手差し：1枚	コート紙	中厚口	A4	中厚口	SEF	(1) 温度15～25°C、湿度30～70%の室内環境で、 同一環境で保管された用紙を使用してください。 (2) 出力後、用紙を1枚ずつ取り除いてください。
コート紙	PODグロスコート128	王子製紙	A4	手動両面	給紙トレイ1～2 手差し	給紙トレイ1～2:100枚 手差し：1枚	コート紙	中厚口	A4	中厚口	SEF	(1) 温度15～25°C、湿度30～70%の室内環境で、 同一環境で保管された用紙を使用してください。 (2) 出力後、用紙を1枚ずつ取り除いてください。
コート紙	PODグロスコート158	王子製紙	A4	手動両面	給紙トレイ1～2 手差し	給紙トレイ1～2:100枚 手差し：1枚	コート紙	厚紙1	A4	厚紙1	SEF	(1) 温度15～25°C、湿度30～70%の室内環境で、 同一環境で保管された用紙を使用してください。 (2) 出力後、用紙を1枚ずつ取り除いてください。
はがき	郵便はがき（旧官製はがき）	日本郵便	郵便はがき	手動両面	給紙トレイ1 手差し	給紙トレイ1：50枚 手差し：5枚	郵便ハガキ	厚紙2	郵便ハガキ	郵便ハガキ	SEF	留意事項はありません。
はがき	郵便はがき 往復（旧官製はがき）	日本郵便	往復はがき	手動両面	給紙トレイ1 手差し	給紙トレイ1：50枚 手差し：5枚	郵便ハガキ	厚紙2	往復ハガキ	郵便ハガキ	LEF	留意事項はありません。
耐水紙	オーバーMDP F22MDP	日本製紙パピリア	A4	手動両面	手差し	手差し：1枚	普通紙	厚紙2	A4	厚紙2	LEF	(1) 温度15～25°C、湿度30～70%の室内環境で、 同一環境で保管された用紙を使用してください。 (2) 出力後、用紙を1枚ずつ取り除いてください。
耐水紙	オーバーMDP F15MDP	日本製紙パピリア	A4	手動両面	手差し	手差し：1枚	普通紙	中厚口	A4	中厚口	LEF	(1) 温度15～25°C、湿度30～70%の室内環境で、 同一環境で保管された用紙を使用してください。 (2) 出力後、用紙を1枚ずつ取り除いてください。
耐水紙	シナップス XM170（150マイクロ ン）	日本アグフマテリ アルズ	A4	片面	給紙トレイ1 手差し	上限しるしまで	普通紙	中厚口	A4	中厚口	SEF	温度15～25°C、湿度30～70%の室内環境で、同一 環境で保管された用紙を使用してください。
ラベル紙	タイプSAハクリ紙20面	リコー	A4	片面	給紙トレイ1～2 手差し	給紙トレイ1～2:10枚 手差し：1枚	ラベル紙	厚紙1	A4	厚紙1	LEF	留意事項はありません。
ラベル紙	レーザープリンタラベル 宛名用12 面	エーワン	A4	片面	給紙トレイ1～2 手差し	手差し：1枚	ラベル紙	厚紙1	A4	厚紙1	SEF	給紙を1枚ずつ行ってください。また排紙された用 紙は速やかに取り除いてください。
ラベル紙	レーザープリンタラベル 宛名用24 面	エーワン	A4	片面	給紙トレイ1～2 手差し	上限しるしまで	ラベル紙	中厚口	A4	中厚口	SEF	温度15～25°C、湿度30～70%の室内環境で、同一 環境で保管された用紙を使用してください。
ラベル紙	タイプSAハクリ紙NC	リコー	A4	片面	給紙トレイ1～2 手差し	上限しるしまで	ラベル紙	中厚口	A4	中厚口	SEF	温度15～25°C、湿度30～70%の室内環境で、同一 環境で保管された用紙を使用してください。

カテゴリ	製品名	メーカー	用紙 サイズ	印刷面	給紙トレイ	積載可能枚数	本体設定		ドライバー設定		通紙 方向	留意事項
							用紙 種類	用紙厚さ	原稿 サイズ	用紙 種類		
封筒	レーザー封筒 長3 ホワイト	ハート	長3	片面	給紙トレイ1 手差し	給紙トレイ1：50枚 手差し：5枚	封筒	厚紙2	長形3号封筒	封筒	SEF	留意事項はありません。
封筒	レーザー封筒 洋長3 ホワイト	ハート	洋長3	片面	給紙トレイ1 手差し	給紙トレイ1：50枚 手差し：5枚	封筒	厚紙2	洋長3号封筒	封筒	SEF	留意事項はありません。
封筒	長3 スミ貼 PODホワイトCoC 3.0	山櫻	長3	片面	給紙トレイ1 手差し	上限しるしまで	封筒	厚紙1	長形3号封筒	厚紙1	SEF	温度15～25℃、湿度30～70%の室内環境で、同一環境で保管された用紙を使用してください。
封筒	洋長3 カマス貼 PODホワイトCoC 3.0	山櫻	洋長3	片面	給紙トレイ1 手差し	上限しるしまで	封筒	厚紙1	洋長3号封筒	厚紙1	SEF	(1) 温度15～25℃、湿度30～70%の室内環境で、同一環境で保管された用紙を使用してください。 (2) 排紙された用紙は速やかに取り除いてください。
名刺	ホワイトプリンス 10面付	山櫻	A4	手動両面	給紙トレイ1～2 手差し	給紙トレイ1～2:100枚 手差し：5枚	普通紙	厚紙2	A4	厚紙2	LEF	留意事項はありません。
名刺	413CoC	山櫻	A4	片面	給紙トレイ1 手差し	上限しるしまで	普通紙	厚紙2	A4	厚紙2	SEF	温度15～25℃、湿度30～70%の室内環境で、同一環境で保管された用紙を使用してください。
名刺	マルチカード IJ・LP・熱転写兼用タイプ 白無地(51003)	エーワン	A4	片面	給紙トレイ1 手差し	上限しるしまで	普通紙	厚紙2	A4	厚紙2	SEF	温度15～25℃、湿度30～70%の室内環境で、同一環境で保管された用紙を使用してください。
名刺	マルチカード各種プリンタ兼用紙 白 (51482)	エーワン	A4	片面	給紙トレイ1 手差し	上限しるしまで	普通紙	厚紙2	A4	厚紙2	SEF	温度15～25℃、湿度30～70%の室内環境で、同一環境で保管された用紙を使用してください。
薬袋	NIP薬袋	小林クリエイト	B5	片面	給紙トレイ1 手差し	上限しるしまで	封筒	中厚口	B5	中厚口	SEF	温度15～25℃、湿度30～70%の室内環境で、同一環境で保管された用紙を使用してください。
薬袋	NIP薬袋	小林クリエイト	A5	片面	給紙トレイ1 手差し	上限しるしまで	封筒	中厚口	A5	中厚口	SEF	温度15～25℃、湿度30～70%の室内環境で、同一環境で保管された用紙を使用してください。

■郵便はがきについて

- (1) 日本郵政株式会社発行の郵便はがきは再生紙を使用しています。
再生紙は特性上、紙粉の影響で紙詰まりが発生する場合があります。発生した場合には、使用説明書の清掃項目を参照の上、清掃を行ってください。
- (2) 郵便はがきは時期によりはがきの紙質に相違がある場合がございます。あらかじめご了承ください。（年賀はがき・かもめーるも同様です）
- (3) 絵入りのはがきなどを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ローラーに付着し、給紙できなくなる場合があります。
- (4) インクジェット専用タイプ、写真用はがきは、表面に塗布された溶剤が定着温度で溶解され、搬送経路にダメージを与える故障を起こす可能性がありますのでご使用にならないでください。（年賀はがき・かもめーるも同様です）
- (5) 郵便はがき印刷時の本体設定、ドライバー設定は各機種のマニュアルをご参照ください。

■耐水紙について

- (1) 印刷物を屋外に掲示する場合など、掲示する環境条件（直射日光、湿気など）によっては、退色する場合があります。
- (2) 厚紙にベタを印刷するような場合は、光沢ムラが生じる場合があります。
- (3) 普通紙への印刷と比べ全体的にやや濃度が薄く、また部分的に色が薄く抜ける場合があります。（特にベタ部）
- (4) 温度/湿度の影響を受けて異常画像が発生する場合があります。ご使用にならない時は、ビニール袋に入れ、密封して保管をするようにしてください。

■封筒について

- (1) 通紙確認済み封筒をご使用ください。通紙確認済み封筒であっても環境によりシワが発生し、正しく印刷されない場合があります。特に湿度50%以上の多湿環境で使用する場合はシワが発生しやすくなります。
- (2) 用紙は1枚ずつセットしてください。
- (3) 用紙のセット方向は正しくセットしてください。
- (4) 封筒を押さえて中の空気を抜き、折り目をしっかり押さえてからセットしてください。
また、封筒が反っているときは、まっすぐに直してからセットしてください。
- (5) 封筒長辺の端に細かいシワ、汚れ、または一部ぼやけて印刷される場合があります。
- (6) 封筒の用紙が重なり合っている部分に印刷する場合スジが入ることがあります。
- (7) 封筒が湿度の影響を受けないようビニール袋に密閉して保管し、出力の際必要なだけ取り出して印刷を行ってください。
- (8) 封筒の裏面には印刷しないでください。

■汎用ラベルについて

- (1) 汎用ラベルは、裁断面等からの糊のはみ出しや紙粉の影響により、紙詰まりや異常画像の発生、感光体の早期劣化等を起こす場合があります。
- (2) 搬送不良を未然に防ぐため、搬送経路に付着した糊・紙粉等は定期的に清掃して取り除いてください。
- (3) 汎用ラベルは、温度/湿度の変化によりカールや変形を起こしやすいため、開封後はトレイ内に残った用紙を含めビニール袋に入れ、密封して保管するようにしてください。
- (4) カール等変形した汎用ラベルは搬送不良の原因となりますのでご使用しないでください。
- (5) 汎用ラベルの継ぎ足しは重送や紙詰まり等の搬送不良の原因となりますのでご注意ください。

■薬袋について

- (1) 薬袋の保管について 温度/湿度の変化による薬袋の変形（生カール、波打ち）を防止するために、開封後給紙トレイに入りきらなかった薬袋や給紙トレイに残った薬袋（長時間印字しない場合）は、本体同梱の「用紙保管袋」に入れて保管してください。
変形は紙詰まりやスキュー（斜送）の原因になります。
- (2) 変形した薬袋の取扱について 生カールが発生した薬袋や波打ちした薬袋は、給紙トレイから取り除くか、積載枚数を減らしてください。*カール5mm以上、波打ち2mm以上の薬袋は使用しないでください。
- (3) 薬袋の継ぎ足しについて 給紙トレイ内の薬袋がなくなる前に薬袋を継ぎ足さないでください。継ぎ足し補給すると紙詰まりの原因になります。
- (4) 薬袋通紙後のシワ/カールについて 薬袋の種類や印刷面の状態によっては、通紙後裏面にシワが発生したり、薬袋がカールする場合があります。
- (5) 重送や紙詰まりが発生する場合は、用紙を捌いてからセットし、時間をあけずに印刷してください。